

2010年4月1日

2010年度新入社員に対する挨拶（要旨）

社長 廣瀬 博

当社は、この4月から新しい中期経営計画をスタートさせた。計画策定に際し、今後の世界経済・事業環境などについて長期的な視点で分析を行い、「グローバルカンパニーとしての経営基盤、事業規模のさらなる強化、拡大」「エネルギー・食糧問題の解決など、グローバル社会の持続的な発展に貢献」「企業価値の継続的な拡大」という3つの経営ビジョンを定めた。新中期経営計画を、経営ビジョン達成のための第一ステップとして位置づけ、着実に実行することで、事業基盤をさらに強化、拡大することを目指していく。当社で働く皆さんには、3つのことを望みたい。

①「社会から信頼される人になる」こと

400年の歴史を有する住友の事業精神の一つに、「自利利他公私一如」というものがある。これは、住友の事業は、自身を利するとともに、国家を利し、社会を利する事業でなければならない、という志を表すものである。煙害対策のために肥料を製造する会社として誕生した当社は、その精神をDNAとして育みながら、社会の持続的発展に寄与することを実践してきた。コンプライアンスを徹底することはもとより、CSRへの高い意識を持って仕事に取り組み、社会の信頼に応え、正直かつ誠実に行動されることをお願いしたい。

②「志を高く、夢を持って、常に学ぶ努力を続ける」こと

新しい価値を創造し、人類社会の発展に貢献していくという当社の使命を実現するためには、社員各人の強い意志や実行力、加えて「志を高く持ち、常に学ぶ」という心掛けが大切だ。学び向上していかうとする原動力は、「夢」を持って仕事に取り組むことである。「夢」を持ち、その実現のために常に挑戦を続け、自分を磨いていくことを心掛けていただきたい。

③「グローバルな視野を持って変化に果敢に挑む」こと

事業のグローバル化により、海外で活躍する機会や、異なる文化・価値観を持つ人々と共に仕事をすることが従来以上に広がっている。現在、世界は激しい変化の真ただ中にあるが、若さあふれる行動力で変化に積極果敢に挑戦し、意欲を持って仕事に取り組んでいただきたい。また、組織として成果を上げていくため、個人の能力向上だけでなく、チームの連携強化の視点も忘れず、住友化学グループの発展を支えるグローバル人材として成長してほしい。

以上

【ご参考】

入社式 : 本社（東京）にて 10時00分から

新入社員数 : 102名